

2024年6月6日

各 位

上場会社名 ロート製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 杉本 雅史
(コード番号 4527 東証プライム)
問合せ先責任者 広報・CSV 推進部 塚田 歩
(TEL. 06-6758-1211)

オーストリアの製薬会社 Mono chem-pharm Produkte GmbH の株式取得について

ロート製薬株式会社(本社:大阪市生野区、社長:杉本雅史、以下「ロート製薬」又は「当社」)は、オーストリアの製薬会社 モノ ケムファーム プロダクト(Mono chem-pharm Produkte GmbH、本社:オーストリア ウィーン、以下「モノ社」)の株式の51%をモンドピヒラー・ノールドウン民間財団(MONDPICHLER-NOORDUNG-PRIVATSTIFTUNG、本社:オーストリア、ウィーン、以下「MNP」)から取得することを決議し、昨日(中央ヨーロッパ夏時間)付けで株式譲渡出資契約を締結致しましたので、お知らせいたします(以下「本株式取得」)。

1. 本株式取得の方法及び理由

本株式取得は、ロート製薬(グループ会社を含む)と MNP が共同出資するオーストリアの特別目的会社(以下「SPC」)により行われます。モノ社の株式51%を取得する総額は、30百万ユーロ(EUR)(約51億円、1 EUR=170円で換算)です。具体的には、SPC が事業会社への増資を29百万ユーロにて引受け49.3%を取得、加えて1百万ユーロにてMNP から1.7%を取得します。

本株式取得により SPC はモノ社株式の100%を取得し、モノ社の実質株式保有比率は、ロート製薬が51%、MNP が49% となる予定です。

モノ社は、医薬品・医療機器の卸・販売事業を展開するジグマファーム アルツナイミッテル(Sigmapharm Arzneimittel GmbH、本社:オーストリア ウィーン、以下「ジグマファーム社」)の株式100%を所有しており、両社はグループ企業として相互に連携して事業を運営しています。

ジグマファーム社はオーストリア人ピヒラー(Pichler)教授により1949年に創業され、オーストリアを中心に眼科用医薬品・医療機器や耳鼻咽喉科用医薬品の製造・販売・輸出を行ってきました。2000年には医薬品製造部門をモノ社として独立させ、企業グループを構成しました。2020年、モノ社はウィーン郊外ホルンシュタインに新工場を設立、最新の欧州医薬品規制・医療機器規制に準拠した高品質の製品を生産する能力を備えています。

ロート製薬は、製品やサービスを通じて世界中の人々に「健康」をお届けすることによって、当社を取り巻くすべての個人や社会を「Well-being」へと導くことを存在意義(パーパス)として事業を展開し、ロートグループ総合経営ビジョン2030では一般用医薬品、スキンケア、食品の各コア事業の更なる拡大・強化

ロート製薬株式会社

を掲げています。

当社の地域別売上高に占める欧州の比率は 5.1%(*1)ですが、拡大余地のある欧州市場により多様な製品ソリューションを提供するため、一般用医薬品・医療機器の更なる強化は不可欠です。アイケアは同社の連結売上高の 19.7%(*1)を占めますが、欧州での売上は小さく、現地に製造拠点を持つことで迅速な事業拡大が可能となり、付加価値のある新たな製品提供を可能とし、今後更なる成長が期待できます。

また、ロート製薬はジグマファーム社を通じて、2024 年 3 月からオーストリア市場でロートドライエイド点眼薬の販売を開始しました。今回の出資により、ロート製薬とモノ社の協力関係はさらに深まることとなります。

モノ社の高品質な生産力とロート製薬の研究技術開発力・商品力を融合させ、欧州の中心地における製造・販売拠点を活用することで、欧州における革新的な事業の創出とアイケア事業の拡大を目指します。

(*1)2023 年度

2. 本株式取得を行う子会社(SPC)の概要

(1) 名称	Rohto Sigmapharm Holding GmbH (予定)		
(2) 所在地	Leystraße 129, 1200 Wien, Austria		
(3) 代表者	Maciej Misztak (Managing Director)	(本株式取得完了時点)	
(4) 事業内容	持株会社		
(5) 資本金	20,000 ユーロ (本株式取得完了時点)		
(6) 設立年月日	2024 年 7 月 予定		
(7) 大株主及び持株比率	ロート製薬グループ	51%	(本株式取得完了時点)
	MNP	49%	(本株式取得完了時点)

3. 異動する会社(モノ社・ジグマファーム社)の概要

モノ社:

(1) 名称	Mono chem-pharm Produkte GmbH		
(2) 所在地	Leystraße 129, 1200 Wien, Austria		
(3) 代表者	Dr. Bernhard Wittmann (Managing Director)		
(4) 事業内容	医薬品・医療機器等の製造・卸・販売・輸出		
(5) 資本金	36,500 ユーロ (2023 年 12 月時点)		
(6) 設立年	1999 年		
(7) 大株主及び株式比率(2023 年 12 月時点)	MONDPICHLER-NOORDUNG-PRIVATSTIFTUNG(MNP) 100%		
(8) 当社との関係			
資本関係	該当事項はありません		
人的関係	該当事項はありません		
取引関係	該当事項はありません		

関連当事者への該当状況 該当事項はありません

(9) ウェブサイト URL

<https://mono.co.at/en/>

ジグマファーム社:

- (1) 名称 Sigmapharm Arzneimittel GmbH
(2) 所在地 LeystraÙe 129, 1200 Wien, Austria
(3) 代表者 Dr. Bernhard Wittmann (Managing Director), Mag. Gabriele Horwath-Berrer
(4) 事業内容 医薬品・医療機器の卸・販売・輸出
(5) 資本金 144,000 ユーロ (2023 年 12 月時点)
(6) 設立年 1949 年
(7) 大株主及び株式比率(2023 年 12 月時点)

Mono chem-pharm Produkte GmbH (モノ社) 100%

(8) 当社との関係

資本関係 該当事項はありません

人的関係 該当事項はありません

取引関係 該当事項はありません

関連当事者への該当状況 該当事項はありません

(9) ウェブサイト URL

<https://sigmapharm.at/en/>

モノ社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態

(単位:千ユーロ)

<現地決算書に合わせ四捨五入>

決算期	2023 年 12 月期	2022 年 12 月期	2021 年 12 月期
純資産(千 EUR)	11,419	11,229	9,984
総資産(千 EUR)	40,803	38,650	37,674
売上高(千 EUR)	33,270	32,282	27,024
営業利益(千 EUR)	1,170	1,913	(678)
経常利益*(千 EUR)	190	1,490	(1,041)
当期純利益(千 EUR)	184	1,331	(1,444)

* “Profit before income tax”として

※モノ社は、ジグマファーム社の他に資産保有会社のジグマモノ社(SigmaMono Liegenschaftsverwaltung GmbH)を連結しています。

4. 本株式取得の相手先(MNP)の概要

- (1) 名称 MONDPICHLER-NOORDUNG-PRIVATSTIFTUNG

(2) 所在地	Mohsgasse 1/1.2, 1030 Wien, Austria
(3) 代表者	Florian Heiserer, Alexander Grohmann, Ferdinand Pillhofer (Executive Board Members)
(4) 事業内容	資産管理財団
(5) 資本金	約 1.8 百万ユーロ
(6) 設立年月日	1999 年 2 月 25 日
(7) 純資産	約 3.0 百万ユーロ
(8) 総資産	約 3.1 百万ユーロ
(9) 大株主及び持株比率	該当事項はありません
(10) 当社との関係	
資本関係	該当事項はありません
人的関係	該当事項はありません
取引関係	該当事項はありません
関連当事者への該当状況	該当事項はありません

5. 本株式取得による取得割合、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 本株式取得前に MNP が所有するモノ社株式
100% (議決権所有割合:100%)
- (2) 本株式取得前に当社が所有するモノ社株式
0% (議決権所有割合:0%)
- (3) 本株式取得で当社が取得するモノ社株式
51% (議決権所有割合:51%)
- (4) 本株式取得の想定取得価額
30 百万ユーロ(約 51 億円、1 EUR=170 円で換算)

6. 予定・スケジュール

- (1) 取締役会決議日 2024 年 6 月 5 日
- (2) 株式譲渡契約締結日 2024 年 6 月 5 日(中央ヨーロッパ夏時間)
- (3) 株式譲渡実行日 2024 年 7 月末(予定)

7. 今後の見通し

本株式取得の結果については判明次第、速やかに公表いたします。また、本株式取得が成立した場合にはのれんが発生する見込みですが、29 百万ユーロはモノ社に増資として出資されるため、のれんが当社の連結業績に与える影響については軽微です。

以上

